

総務委員会会議録（要点筆記）

平成30年1月16日（火）

午前9時00分 開会

○成田吉毅委員長

ただいまから総務委員会を始めます。

本日、マスコミの方の傍聴の希望がございますので、これを許可してよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり】

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午前 9時 1分 休憩

午前 9時 1分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

まず、委員の皆様と傍聴者の方にお願いをいたします。本件の情報は、病院建設候補地検討委員会が1月22日、1週間後でございます。それより前の情報ですので、情報の取り扱いについては十分にご留意していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。では、当局の説明をよろしくお願ひします。

○竹内病院事務局長

本日資料として、候補地の建設コスト、工期、収支計画などの資料をご配付させていただきましたので、ご説明をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

○大嶽病院管理課長

【資料に沿って説明】

○成田吉毅委員長

説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

○久世孝宏委員

資料の4の前提条件を難しくてわからないので確認したいのですが、料金収入の部分、特に開院後の算定条件、半田市立半田病院新病院建設構想の条件を使用してあるのですが、例えば北部グラウンドと運動公園は料金収入一緒でそろえてとりあえずみました、地理的要因の増減は見込んでいないということなのかとは思いますが、雁宿ホールの方は、数字がちょっと運動公園とかとは違ってくるので、ここにどんなふうで料金収入や何かを見込んだのかというのを教えてほしいのですけれども、どういう計算があるか、もう少し、例えば開院後で運動公園だったら3年目、4年目の40年度、それから雁宿ホールの開院1年目の40年度とかを見たときに料金収入とかが一緒ならその数字をもってきているのだと単純に分かるのですけれども、違ってきているので何か病院建設構想の条件を調べればいいのかもわからないのですけれども。

○竹内病院事務局長

ちょっと場所によってどのぐらいの収益があがるかというのは実はわからないものですから、全部同じで作ってあるはずなのですけれども、私たちもチェック不足だったところ

があったのですけれども、本当だったら同じはずですが、もう一度精査します。申し訳ございませんでした。

○久世孝宏委員

たぶん、どんどん料金収入が減ってきてくるのだけど、古い病院のままだとまだずっと減ってきて、どこかで新しくなったときに、何かそこで計算が変わって数値がずれると思うのです。雁宿ホールはまだ開院が遅れるのでずっと減ってきて、開院のときに何かきっと計算式があって開院後にちょっと上がると思うのですけども。

○大嶽病院管理課長

北部グラウンド、運動公園につきましては開院37年の時点で、それまでの入院単価については、割増しであげてあります。それが39年は、雁宿ホールは39年なものですから、39年を基準に以降割増ししてあげておるということで、開院の時期がずれているものですから収入自体も、37年と39年で2か所と1か所が違ってくるというような内訳にはなっています。

○久世孝宏委員

そうなると45年度で雁宿ホールがなんで追いつくのかという、開院が遅れるので、今度の料金の伸びがずれているはずなのですけども、45年度で雁宿ホールが例えば料金収入12,537百万があって、運動公園とか北部グラウンドも45年で12,537百万となっている、ずっと減ってきて、ところが新しい病院になるとどんどん増えていくという、おかしくないかと思います。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午前 9時12分 休憩

午前 9時32分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

○久世孝宏委員

スケジュールのところで教えてください。結局先ほど半田病院を職員駐車場だったら、33年、今だと34年ぐらいにはできるようなイメージだと思うのです。ところがこれが、開院予定が37年になっているということは運動公園に行くことでプラス3年とかかかってくるのです。その3年余分にかかる理由、もともと早く造りたいということのなかで、用地取得の差がない中で、なぜ3年余分にかかるのかという部分を改めて確認をしたいです。

○都築病院管理課主幹

工程につきましては、資料を見ていただけるとわかるように、予備調査と土地利用計画の作成というものが新たに入ってきます。その場所は非常に、事前調査をしておかないと、山を崩すなり何なりをする場合に工事に着手する前にやっておかなければいけないいろんな調査が多いです。杭とか環境問題とかそういったものの調査とその土地をどういうふう利用するのが一番病院として効果的なのかということまで含めて計画を作らなければいけませんのでそういったことで、最初のうち計画作成の時間が必要になるということで、この分が設計までいくまでに事前にかかるということで、この分が遅れにつなが

っていくというふうにご理解いただきたいと思います。

○久世孝宏委員

市街化調整区域だからという理由ではなくて、土地が平らではないからということですか。ここだと調査をしなくていい、向こうだと調査をしなければいけないという理由は、単純に平らかどうかという話でいいのですか。

○都築病院管理課主幹

乱暴な言い方をさせていただくとそういうことになります。山であって、ここの辺りの敷地ですとボーリング調査とかいろいろとデータもございまして、だいたい地下の地盤がわかっていますけれども、今回やろうとしている地域については、非常にそういったデータがない部分ですので、細かくボーリング調査をしなければいけませんし、それから環境とか、どういうインフラを整備していくとか、最適な病院を建てる位置はどこになるのかというようなことまで踏まえて考えないといけない地域になります。ということで、土地の利用計画から作るということになります。

○久世孝宏委員

もう一つ雁宿ホールなのですが、開院がさらに2年増える主なところは、代替施設を造ってからとりかかるからというところですか。

○都築病院管理課主幹

雁宿ホールに関しましては、既存の施設、雁宿ホールを今後どうするかということを決めないといけないということで、そこを利用されている方もございますし、現実にそこで事務をやっている社協とか生涯学習課とかいろいろと入っている施設もございまして、そういったものの移転計画とか、それを工事中どこでやるかとか、そういうことも決めていかなくてはならないので、ということになると、まず雁宿ホールを別の場所に建てて、そちらに移転した後に取壊しというような順番になっていくのが普通であろうと、順当であろうということのもとにこういう計画を立ててございますので、雁宿ホールは先に壊してしまつて病院をとにかく建ててしまえというような流れにはならない、非常にこれは慎重にやらないと利用者も多いし、市民にも影響が多いということで、まずは建ててから取壊しを始めて、それから病院の建設が始まるというふうな順番を組み立てましたのでこういう流れになっております。さらに長くなったということでございます。

○中川健一委員

今回の資料ありがとうございました。ただこの資料を作ることになった経緯として前回の打合せのときに、赤字だから、経営が大変だから早く病院を建てないといけないということと、いい医者さんが集まらなくなるから困る、そういう中で経営が大変だから早く造らないといけないという、病院とか副市長とか話があつてそれが事実かどうか、どこまで経営が大変なのかというきちとした経営計画を見せてくれないとわからないということで作ってもらったと思うのです。収支計画に関して言うと46年度から黒字になるので例えば病院の建設場所の議論を1年間遅らせたところで47年になるだけということですので、収支計画は別に1年ぐらいどこに病院を建てるのかという議論を市民で広くやる余裕はまあ恐らく僕はあるのだろうということだと思いますけども、ですので恐らく病院として、収支計画を理由に3月までに決めないといけないというのは、ちょっと議論には無理があるのかと思いますが、そういう理解でよろしいでしょうか。

○竹内病院事務局長

その1年がどうなのかということは、それぞれ見解の違いと言ってしまえばそれまでなのですが、やはり1年でも早く建てた方が収支は改善するので早い方がいいですし、一方施設の老朽化というのはどんどん進んでおりますので、そういったところを考えるとやはり1年、一刻でも早くというのが今までずっと言ってきたことだというふうにご理解いただければと思います。

○中川健一委員

でもそこはきちっと議論してくれないと、論理構成をきちっと作ってくれないと、現状の施設を使うのが大変だとそういうのは僕もわかるわけです。だけれども新しい病院が赤字になるから困るのか、そういう理由を言われると、この収支計画を見れば、別に1年先延ばしすれば済む話でしょうと、その代りにもっといいものができることだってあるわけです。きちとなぜ3月までに作らないといけないかという論理構成をもう一回きちっと作り直して、もう少し納得感のあるものにしてほしいと思いますので、ぜひ考えてください。

○久世孝宏委員

個人的には今の北部か運動公園かという二択なら1年かける必要はなく、他の元々候補地にあがっていた、例えば半田中央インターの近くだとか、半田南インターの近くだとかというところを、どっちがいいかという話になればたぶん1年ぐらい議論しても価値があると思うけれど、そうすると1年で開院が1年遅れるかどうかという、たぶんそういうレベルでは用地取得が絡んでくるというのはあるので、二択ならもう3月まででぜひ決めてほしいというのは思っています。で、修繕費の実績、今の病院の修繕それは、平成28年度はいくらだった、29年度はいくらだった、30年度はどれくらい見込んだというのが、まあ、さっきこれからは2割増しでいくということで、さっきメモし忘れたので、わかたら教えてもらってもいいですか。要は1年遅れるととりあえずそれだけずつ、大規模修繕がいつ要るかというのは置いておいて、1年それだけかかっているそれが5年遅ればかければ、かけるそれだけだというふうには個人的には見ようかと、わかりますか。

○大嶽病院管理課長

28年は約8,100万円ほどです。27年は約1億2,000万円です。26年が約7,700万円という実績があります。30年予算は6,900万円です。31年以降は8,280万円という数字を載せてございます。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午前 9時46分 休憩

午前 9時47分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

ほかに、ありませんか。

【「なし」との声あり】

では、繰り返しになりますが、この資料は22日の候補地検討委員会の資料でございますので、今日の情報についてはくれぐれもご留意ください。本日の総務委員会は閉会いた

します。

次回のこの会は2月16日全員協議会終了後に行いますのでよろしくお願いします。

午前 9時49分 閉会